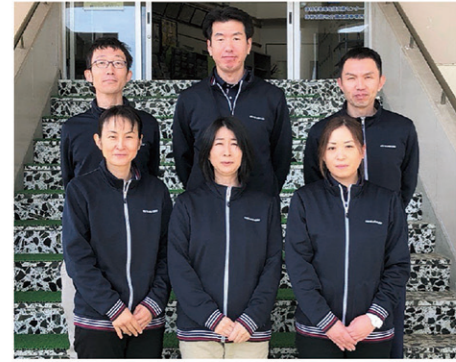


社会福祉法人 田村市社会福祉協議会 田村市地域包括支援センター

田村市大越町上大越字古川97

田村市地域包括支援センターは高齢者の総合相談センターとして、6名体制で業務を行っております。担当地域は滝根町、大越町、都路町、常葉町です。今後ともよろしくお願いいたします。



上段左から、紺野(保健師)、柴原(管理者兼社会福祉士)、神田(主任介護支援専門員)
下段左から、石井(社会福祉士)、浦山(副管理者兼主任介護支援専門員)、桑原(社会福祉士)

田村市大越町上大越字古川97 受付時間
電話:0247-68-3737 FAX:0247-68-3939 ◎月～金 8:30～17:30
Email:tamurashihoukatsu@vesta.ocn.ne.jp ◎土 8:30～12:30(祝日は除く)

～認知症サポーター養成講座を開催しました～

田村市地域包括支援センターでは認知症施策の一環として、令和5年12月9日(土)に田村市常葉町保健センターにて、認知症サポーター養成講座を開催しました。いつもは出前講座として要請があった場所に赴いて開催していましたが、今回は一般市民向けに田村市広報やポスターで周知して参加者を募りました。また、現役世代の方も参加しやすいように土曜日開催としました。最初はなかなか申し込みがありませんでしたが、最終的には15名の方に参加していただきました。内容としては、前半にスライドを使用して認知症に関する基本的な講義を行いました。後半は、職員が認知症の方への声掛けのデモンストレーションを行い、その後に参加者に2名一組になってもらい、お互いに声掛け体験をしていただきました。以下、講座の様子の写真です。



講義の様子



ロールプレイの様子

田村市ふねひき
地域包括支援センター

田村郡田村市船引町船引字小沢川代 89-1

スタッフの皆さんと活動の様子



受付時間
●月～金 8:30～17:30(祝日除く)
●土 8:30～12:30(祝日除く)
電話 0247-73-8762
FAX 0247-73-8763

社会福祉法人
三春町社会福祉協議会
三春町地域包括支援センター

田村郡三春町字南町1 三春町福祉会館1階

三春町にて先日、小学校において、「認知症キッズサポーター養成講座」を行いました。講義、寸劇、グループワークを行い、子供達の認知症に対する理解を深める場となりました。「認知症サポーター養成講座」を開講したい団体・企業・自治会等に対し、講師を無料で派遣しています。町内在住の方、町内へ通勤・通学されている方ならどなたでも可能です。ぜひ、お気軽にご相談ください!



受付時間
●月～金 8:30～17:15(祝日除く)
電話 0247-62-8586
FAX 0247-62-8640

社会福祉法人
小野町社会福祉協議会
小野町地域包括支援センター

田村郡小野町大字小野新町字品ノ木111

認知症について正しい知識の普及推進
小野町地域包括支援センターでは、町より認知症総合支援事業を受託し認知症支援の取り組みをすすめています。地域活動として今年度は、地域サロンを5回訪問し「認知症サポーター養成講座」「認知症予防講話」等の実施をしています。これからも「認知症の方に優しい地域づくり」を目指して活動していきたいと思っております。みなさまのご協力よろしくお願いいたします。



受付時間
●月～金 8:30～17:15(祝日除く)
電話 0247-72-2128
FAX 0247-61-6102

事務局からのお知らせ

田村地方の在宅医療・介護の現場における他職種連携の取り組みを進めるために現場の皆様の声を募集しています。テーマは自由です。投稿先 Info@tma.or.jp

発行 田村地方在宅医療・介護連携支援センター

令和6年2月1日発行 第6号

〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字品ノ木123番地 医療法人慶信会石塚醫院(田村医師会事務局)1階
FAX 0247-72-3493 TEL 0247-72-2161 ※電話番号は田村医師会事務局と共通

ご挨拶



田村地方在宅医療・介護連携支援センター
代表

石塚尋朗

2024年が明けましたが、年明けから能登半島地震が起こり、翌日には海上保安庁と日航機の衝突という大きな事故が起こりました。災害はいつ起こるか予測できません。常日頃からの防災や訓練が必要であることをあらためて思います。このセンターだよりの第5号は、災害対策をテーマにしたものでしたが、まさに必要な特集であったと思います。

どのような災害時にもいえることですが、高齢者や医療・介護ケアが必要な方たちが一番危機的状況に陥ります。たとえ一時的に避難することができても、その後の避難所で生命を落とされる方もいらっしゃいます。

今こうしている間にも、多くの方が水や電気のない場所で過ごしておられることを思い、被災者の皆様、なかでも高齢の方々や医療・介護を受けていらっしゃる方が無事でありますようお願いいたします。また医療・介護の担い手の多くもまた被災されておられることから、疲労などで体調を崩されないよう十分な支援が迅速に届くようお祈りいたします。

そして、この田村地方においてもいつ起こるか分からないあらゆる災害を想定して、地域の住民の皆様、特に高齢者・医療・介護の受

け手の皆様を守ることができるよう行政・医療・介護の担い手・そして多くの関連団体が連携を強化し、田村地方を災害に強い頼もしい地域としていくべく思いを新たにいたしております。

最後にあらためて此度の地震・事故で亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げ、ご遺族の皆様にご配慮を申し上げます。そして被災された皆様が一日も早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈りいたします。

田村地方介護支援専門員連絡協議会の20年の活動に敬意を表して

今、在宅医療・介護連携支援事業の取り組みが全国で盛んになってきております。このなかで、高齢化や核家族化の進行・介護離職問題などを背景に介護を社会全体で支えることを目的として2000年に創設された介護保険制度が大きな役割を果たしております。この制度は、現在までに介護を必要とする高齢者を支える制度として定着してきました。そしてこの制度が定着するまでの長きにわたり、介護支援相談員

(ケアマネジャー)の皆様が担われた役割の重要性にあらためて思いをはせています。2023年に田村地方介護支援専門員連絡協議会発足20年という記念すべき年を迎えられ2024年、新たな20年の活動に向けて始動されました田村地方の介護支援専門員の皆様に敬意を表しますとともに、未来に向けてさらに着実に歩みを進めていただくことを期待いたします。

田村地方介護支援専門員連絡協議会会長 神田 秀樹

田村地方介護支援専門員連絡協議会(以下、協議会)が発足して20年を迎えます。

私は介護支援専門員の業務に携わるようになってからまだ日が浅く、会員としての活動もまだまだ少ないのですが、令和5年度から役員会の一員となり、協議会で企画する研修会の計画や実施に向け、定期的に打ち合せ等を行っています。

介護支援専門員は法定研修をはじめ医療や介護のことに限らず、さまざまな研修会に参加しており、協議会の発足から現在に至るまでも、協議会で企画した研修会や関係する機関の勉強会へ参加し、地域の介護を担う一員として、それぞれが自己研鑽して

きたのではないのでしょうか。また、日々の業務においては、医療機関や介護サービス事業所だけでなく、障害サービス、また、民間の団体等と関わりを持つこともあり、多職種との連携や協働は、介護支援専門員にとって必要不可欠となっています。

協議会として一つの節目を迎えましたが、今後も協議会の活動を通じて会員相互の連携を図るとともに、関係するすべての機関と互いに気兼ねなく相談することができる関係性を構築していきたいと思っております。